

## 令和3年度 鳳来中部地域自治区 まちづくりアンケート結果

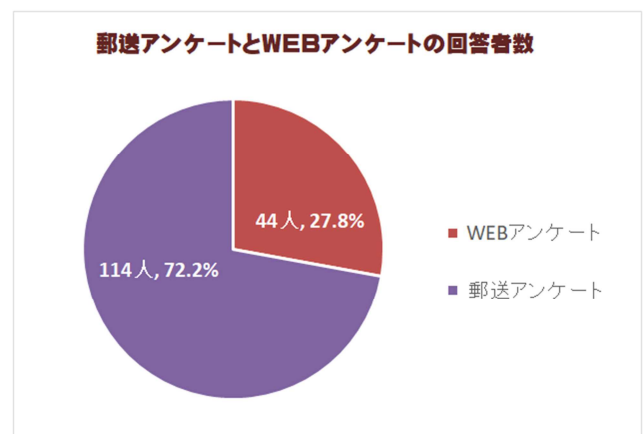
### I アンケート調査の概要

- 1 目的 平成30年に策定された「鳳来中部地域計画」の進捗管理と、進め方について、隔年でアンケート調査を行い、推進の達成度の確認や、取り組むべき事業の優先度などを客観的に判断とともに、令和4年度に予定されている鳳来中部地域計画の見直しのための参考とすることを目的として実施しました。
- 2 調査方法 アンケート調査は、インターネットによるWEBアンケートと、鳳来中部地域自治区在住の18歳から89歳の方を対象として、無作為抽出で選ばれた400人への郵送アンケートにより調査しました。
- 3実施期間 (1) WEBアンケート 令和3年11月16日から12月17日まで  
(2) 郵送アンケート 令和4年1月19日から2月18日まで
- 4調査内容 WEB入力及び、アンケート用紙への記入により、鳳来中部地域自治区の取り組みの認知度、地域計画に挙げられている各分野の重要度と満足度、まちづくり活動への参加意欲について調査しました。
- 5結果集計 アンケート結果について、グラフにより取りまとめると共に、地域計画各分野については、CSポートフォリオ分析(※)により4つに分類しました。また、それぞれの調査項目について、前回調査(令和元年11月実施)及び、世代別、地域別で比較しました。  
※CSポートフォリオとは、顧客満足度調査に用いられる手法で、項目ごとの重要度と満足度をポイント化し、その結果から事業の改善を図るために活用するものです。

### II アンケートの結果(回答概要・認知度)

#### 1 郵送アンケートとWEBアンケートの回答割合

アンケート回答総数は158件で、WEBアンケートの回答が44件(27.8%)、郵送アンケートの回答が114件(72.2%)でした。



## 2 郵送アンケートの回答率

郵送アンケートは400通発送し、回答数は114通で回答率は28.5%でした。前回（令和元年度実施）調査の回答率は29.3%であり、今回の回答率はやや低い結果となりました。

なお、回答率の世代別で比較すると、大幅に回答率が高くなった世代が10歳代で前回調査の9.1%から、35.0%と25.9ポイント増加した。回答率が前回調査よりも高くなった世代は10歳代、20歳代、30歳代、80歳代で、50代は前回と同じ数値、40歳代は僅かに減少、60歳代、70歳代は減少しました。

### まちづくりアンケート（郵送分回答率）

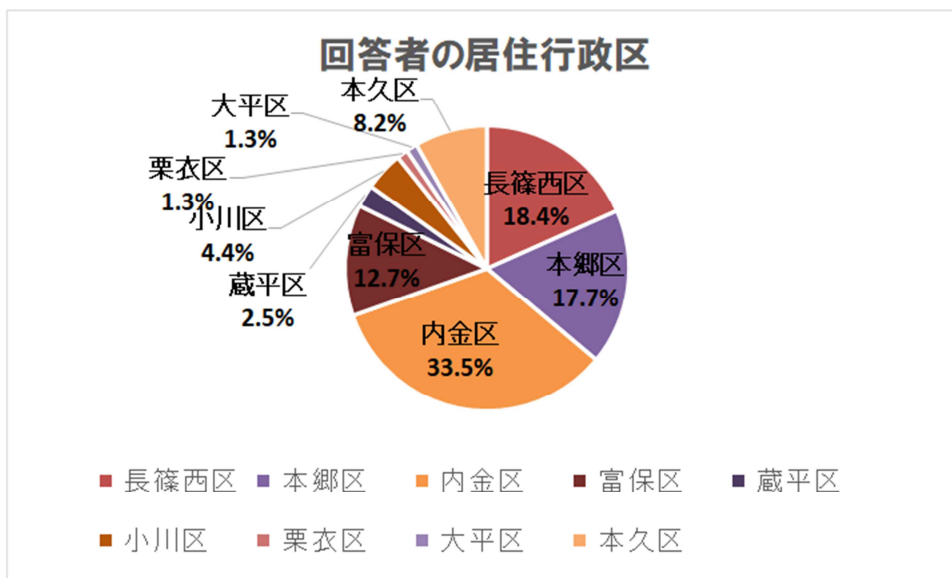
年齢区分	令和3年度調査			令和元年度調査			回答率比較
	発送数	回答数	回答率	発送数	回答数	回答率	
10歳代	20人	7人	35.0%	11人	1人	9.1%	25.9ポイント
20歳代	40人	7人	17.5%	39人	4人	10.3%	7.2ポイント
30歳代	50人	11人	22.0%	60人	7人	11.7%	10.3ポイント
40歳代	60人	13人	21.7%	65人	15人	23.1%	-1.4ポイント
50歳代	60人	13人	21.7%	69人	15人	21.7%	0ポイント
60歳代	70人	22人	31.4%	98人	40人	40.8%	-9.4ポイント
70歳代	70人	29人	41.4%	95人	46人	48.4%	-7.0ポイント
80歳代	30人	12人	40.0%	51人	15人	29.4%	10.6ポイント
合計	400人	114人	28.5%	488人	143人	29.3%	-0.8ポイント

※この票にはWEBアンケートによる回答者数は含まれていません。

※10歳代については、18歳から19歳を対象としています。

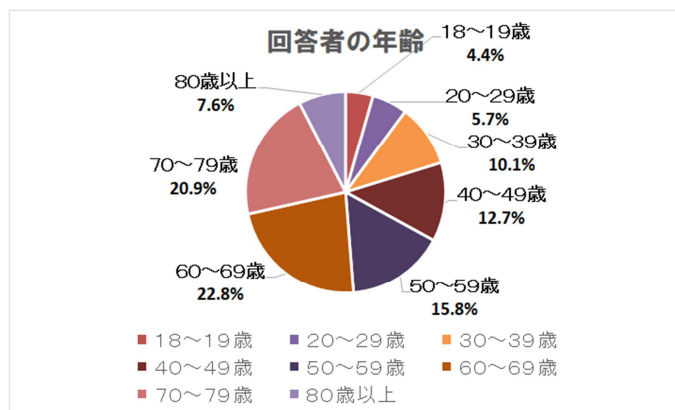
## 3 回答者の居住行政区

回答者の居住行政区をみると、内金区（33.5%）で最も多く、長篠西区、本郷区、富保区の割合が多くなっており、蔵平区、小川区、栗衣区、大平区、本久区の割合が低くなっています。これは、行政区の居住人口の差によるものと考えられます。



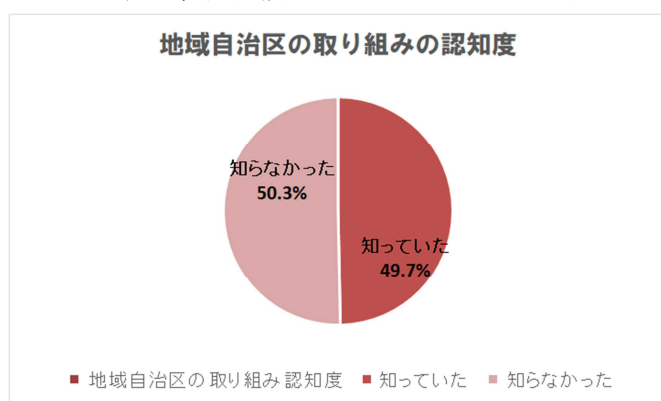
#### 4 回答者の年齢

回答者の年齢を見ると、60歳代（23%）が最も多く、次いで70歳代、50歳代となっています。10歳代については、18歳以上を対象としているためアンケート発送数は少ないものの、回答者の割合が比較的高くなっています。



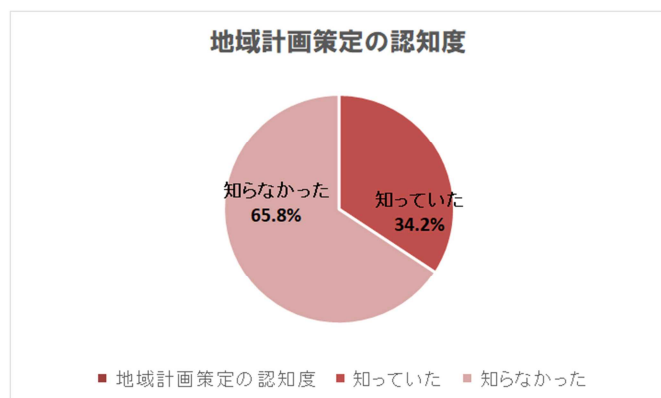
#### 5 地域自治体の取り組みの認知度

鳳来中部地域自治体の取り組みについての認知度を調査した。取り組みについて「知っていた（49.7%）」、「知らなかった（50.3%）」でした。なお、前回調査では地域自治体の取り組み認知度は47.2%で、前回調査を2.5ポイント上回っています。



#### 6 地域計画策定の認知度

地域計画が策定されたことについての認知度は、「知っていた（34.2%）」、「知らなかった（65.8%）」となりました。前回調査では「知っていた（25.9%）」で、認知度は8.3ポイント上回っています。



### Ⅲ アンケートの結果(基本目標)

#### 1 暮らしの分野

暮らしの分野については、「行政区や公民館をまたぐ交流事業や、鳳来中部全体を考えたまちづくり」、「鳳来中部地域自治区の拠点整備や、公共施設の有効活用」、「地域の景観保全や、人が集うまちづくり、空き家の活用状況」の3項目について、重要度と満足度を調査しました。

分野全体としての重要度は4.03ポイントで、前回調査の3.88ポイントを0.15ポイント上回ったが、満足度については、2.78ポイントで、前回調査の2.83ポイントを0.05ポイント下回りました。

項目別では、重要度が3項目ともに増加しています。満足度については「行政区や公民館をまたぐ交流事業や、鳳来中部全体を考えたまちづくり」が前回調査を上回りましたが、「鳳来中部地域自治区の拠点整備や、公共施設の有効活用」、「地域の景観保全や、人が集うまちづくり、空き家の活用状況」の2項目については、下回る結果となりました。

#### 1暮らしの分野

##### 行政区や公民館をまたぐ交流事業や、鳳来中部地区全体を考えたまちづくり

重要度			満足度		
重要である	47	235	満足	9	45
やや重要	81	324	やや満足	71	284
あまり重要でない	21	42	やや不満	59	118
重要でない	6	6	不満	13	13
	155	<b>3.92</b>		152	<b>3.03</b>
		3.79(0.13↑)			2.99(0.04↑)

##### 鳳来中部地域自治区の拠点整備や、公共施設の有効活用

重要度			満足度		
重要である	59	295	満足	7	35
やや重要	74	296	やや満足	64	256
あまり重要でない	20	40	やや不満	66	132
重要でない	3	3	不満	16	16
	156	<b>4.06</b>		153	<b>2.87</b>
		3.89(0.17↑)			2.92(0.05↓)

##### 地域の景観保全や、人が集うまちづくり、空き家の活用状況等

重要度			満足度		
重要	53	265	満足	2	10
やや重要	83	332	やや満足	43	172
あまり重要でない	16	32	やや不満	79	158
重要でない	2	2	不満	26	26
	154	<b>4.10</b>		150	<b>2.44</b>
		3.95(0.15↑)			2.59(0.15↓)
		3.88(0.15↑)			2.83(0.05↓)
<b>全体ポイント</b>		<b>4.03</b>	<b>全体ポイント</b>		<b>2.78</b>

#### 2 安心安全の分野

安心安全の分野については、「地域自治区全体の地域防災活動や、防災に関わる人事育成、災害時要援護者への支援」、「交通安全や、防犯に関わる施設の整備や、地域の取り組み」の2項目について、重要度と満足度を調査しました。分野全体としての重要度は4.48ポイントで、前回調査の4.31ポイントを0.17ポイント上回っており、満足度についても3.09ポイントで前回調査の2.94ポ

イントを0.15ポイント上回りました。

項目別では、「地域自治区全体の防災活動や、防災に関わる人事育成、災害時要援護者絵の支援」、「交通安全や防犯に関わる施設の整備や、地域の取り組み」の2項目とも、重要度、満足度が前回調査を上回る結果となりました。

## 2安心・安全の分野

### 地域自治区全体の地域防災活動や、防災に関わる人材育成、災害時要援護者への支援

重要度			満足度		
重要である	96	480	満足	9	45
やや重要	52	208	やや満足	63	252
あまり重要でない	8	16	やや不満	69	138
重要でない	0	0	不満	10	10
	156	4.51		151	2.95
		4.38(0.13↑)			2.94(0.01↑)

### 交通安全や、防犯に関わる設備の整備や、地域の取り組み

重要度			満足度		
重要である	89	445	満足	12	60
やや重要	56	224	やや満足	80	320
あまり重要でない	9	18	やや不満	48	96
重要でない	1	1	不満	11	11
	155	4.44		151	3.23
		4.24(0.20↑)			3.04(0.19↑)
		4.48			3.09
		4.31(0.17↑)			2.94(0.15↑)

## 3 子育ての分野

子育ての分野については、「子どもの見守りや、交通安全教室、防犯マップなどの安全教育」、「子どもが自由に利用できる環境の整備や、子どもが集まる地域行事」、「地域で子育てを学ぶ機会や、子育て教室等子育てへの支援」の3項目について調査し、分野全体としては重要度が4.41ポイントで、前回調査の4.17ポイントを0.24ポイント、満足度については3.04ポイントで前回調査の3.01ポイントを上回りました。

項目別では、重要度は全ての項目で前回調査を上回っています。満足度については「こどもの見守りや、交通安全教室、防犯マップなどの安全教育」が前回調査を上回っていますが、「子どもが自由に利用できる環境の整備や、子どもが集まる地域行事」、「地域で子育てを学ぶ機会や、子育て教室等子育てへの支援」の2項目が前回調査を下回る結果となりました。

## 3子育ての分野

### こどもの見守りや、交通安全教室、防犯マップなどの安全教育

重要度			満足度		
重要である	95	475	満足	11	55
やや重要	48	192	やや満足	97	388
あまり重要でない	11	22	やや不満	34	68
重要でない	0	0	不満	7	7
	154	4.47		149	3.48
		4.30(0.17↑)			3.10(0.38↑)

こどもが自由に利用できる環境の整備や、こどもが集まる地域行事

重要度			満足度		
重要である	88	440	満足	7	35
やや重要	58	232	やや満足	49	196
あまり重要でない	6	12	やや不満	77	154
重要でない	1	1	不満	14	14
	153	<b>4.48</b>		147	<b>2.71</b>
令和元年度調査値			令和元年度調査値		
4.19(0.29↑)			2.94(0.23↓)		

地域で子育てを学ぶ機会や、子育て教室など子育てへの支援

重要度			満足度		
重要である	75	375	満足	7	35
やや重要	60	240	やや満足	62	248
あまり重要でない	14	28	やや不満	62	124
重要でない	2	2	不満	12	12
	151	<b>4.27</b>		143	<b>2.93</b>
令和元年度調査値			令和元年度調査値		
4.02(0.25↑)			3.00(0.07↓)		
令和元年度調査値			令和元年度調査値		
4.17(0.24↑)			3.01(0.03↑)		
全体ポイント		<b>4.41</b>	全体ポイント		<b>3.04</b>

4 健康づくりの分野

健康づくりの分野については、「心や体の健康づくりのための文化、スポーツ事業への取り組み」、「高齢者の健康づくり、生きがいつくりなどの支援」、「買い物、ゴミ出しなどの高齢者の日常生活や、介護する人への支援」の3項目について調査しました。分野全体としては重要度が4.15ポイントで、前回調査の4.01ポイントを0.14ポイント上回り、満足度については2.92ポイントで、前回調査の2.95ポイントを0.03ポイント下回りました。

項目別では、3項目全てで重要度が前回調査を上回っています。満足度については「高齢者の健康づくり、生きがいつくりなどの交流」が前回調査を上回っていますが、「心や体の健康づくりのための文化、スポーツ事業への取り組み」、「買い物、ゴミ出しなどの高齢者の日常生活や、介護する人への支援」の2項目については、前回調査を下回る結果となりました。

4健康づくりの分野

心や体の健康づくりのための文化、スポーツ事業への取り組み

重要度			満足度		
重要である	45	225	満足	7	35
やや重要	80	320	やや満足	68	272
あまり重要でない	26	52	やや不満	62	124
重要でない	2	2	不満	10	10
	153	<b>3.92</b>		147	<b>3.00</b>
令和元年度調査値			令和元年度調査値		
3.87(0.05↑)			3.04(0.04↓)		

高齢者の健康づくり、生きがいつくりなどの交流

重要度			満足度		
重要である	56	280	満足	12	60
やや重要	74	296	やや満足	61	244
あまり重要でない	22	44	やや不満	63	126
重要でない	2	2	不満	10	10
	154	<b>4.04</b>		146	<b>3.01</b>
令和元年度調査値			令和元年度調査値		
3.96(0.08↑)			2.97(0.04↑)		

買い物、ゴミ出しなどの高齢者の日常生活や、介護する人への支援

重要度			満足度		
重要である	91	455	満足	7	35
やや重要	58	232	やや満足	56	224
あまり重要でない	5	10	やや不満	67	134
重要でない	1	1	不満	21	21
	155	<b>4.50</b>		151	<b>2.74</b>
		令和元年度調査値 4.21(0.29↑)			令和元年度調査値 2.83(0.09↓)
全体ポイント <b>4.15</b>			全体ポイント <b>2.92</b>		
		令和元年度調査値 4.01(0.14↑)			令和元年度調査値 2.95(0.03↓)

5 自然の分野

自然の分野については、「自然とふれあうための活動や、自然を守り育むための勉強会など」、「遊歩道や、植物への看板設置など自然に親しむ環境づくりや、休耕地の活用など」の2項目について調査しました。分野全体としては重要度が3.59ポイントで前回調査の3.59ポイントと同じで、満足度については2.97ポイントで前回調査の2.94ポイントを0.03ポイント上回りました。

項目別では、重要度が「自然とふれあうための活動や、自然を守り育むための勉強会など」が前回調査を下回りましたが、「遊歩道や、植物への看板設置等自然に親しむ環境づくりや、休耕地の活用など」は前回調査を上回りました。満足度については2項目共に前回調査を上回る結果となりました。

5自然の分野

自然とふれあうための活動や、自然を守り育むための勉強会など

重要度			満足度		
重要である	34	170	満足	8	40
やや重要	68	272	やや満足	71	284
あまり重要でない	46	92	やや不満	60	120
重要でない	7	7	不満	8	8
	155	<b>3.49</b>		147	<b>3.07</b>
		令和元年度調査値 3.50(0.01↓)			令和元年度調査値 3.05(0.02↑)

遊歩道や、植物への看板設置等自然に親しむ環境づくりや、休耕地の活用など

重要度			満足度		
重要である	41	205	満足	10	50
やや重要	73	292	やや満足	58	232
あまり重要でない	34	68	やや不満	61	122
重要でない	7	7	不満	19	19
	155	<b>3.69</b>		148	<b>2.86</b>
		令和元年度調査値 3.67(0.02↑)			令和元年度調査値 2.82(0.04↑)
全体ポイント <b>3.59</b>			全体ポイント <b>2.97</b>		
		令和元年度調査値 3.59(0)			令和元年度調査値 2.94(0.03↑)

6 歴史・伝統の分野

歴史・伝統の分野については「地域の歴史を次の世代に伝えるための勉強会や、郷土資料の調査、整備活用」、「ボランティアガイドや、情報発信、史跡整備など歴史資源を活かした地域活性化」、「のぼりまつりの内容や、地域との関わり、今後の在り方について」、「各地域の伝統行事への支援と担い手の育成について」の4項目について調査しました。分野全体としては重要度が3.90ポイントで前回調査を0.11ポイント下回り、満足度については3.25ポイントで前回調査の2.95ポイントを0.

30ポイント上回りました。

項目別では、重要度は「地域の歴史を次の世代に伝えるための勉強会や、郷土資料の調査、整備活用」は前回調査を上回りましたが、その他3項目については前回調査を下回りました。満足度については「各地域の伝統行事への支援と担い手の育成について」が前回調査を下回りましたが、その他3項目については前回調査を上回る結果となりました。

## 6 歴史・伝統の分野

### 地域の歴史を次の世代に伝えるための勉強会や、郷土資料の調査、整理活用

重要度			満足度		
重要である	56	280	満足	12	60
やや重要	67	268	やや満足	74	296
あまり重要でない	24	48	やや不満	52	104
重要でない	6	6	不満	7	7
	153	<b>3.93</b>		145	<b>3.22</b>
令和元年度調査値			令和元年度調査値		
3.87(0.06↑)			3.04(0.18↑)		

### ボランティアガイドや、情報発信、史跡整備など歴史資源を活かした地域活性化

重要度			満足度		
重要である	44	220	満足	12	60
やや重要	80	320	やや満足	86	344
あまり重要でない	25	50	やや不満	43	86
重要でない	5	5	不満	6	6
	154	<b>3.86</b>		147	<b>3.37</b>
令和元年度調査値			令和元年度調査値		
3.96(0.10↓)			2.97(0.40↑)		

### のぼりまつりの内容や、地域との関わり、今後の在り方などについて

重要度			満足度		
重要である	57	285	満足	16	80
やや重要	66	264	やや満足	70	280
あまり重要でない	25	50	やや不満	51	102
重要でない	8	8	不満	13	13
	156	<b>3.89</b>		150	<b>3.17</b>
令和元年度調査値			令和元年度調査値		
4.21(0.32↓)			2.83(0.34↑)		

### 各地域の伝統行事への支援と担い手の育成について

重要度			満足度		
重要である	64	320	満足	9	45
やや重要	61	244	やや満足	56	224
あまり重要でない	28	56	やや不満	64	128
重要でない	2	2	不満	18	18
	155	<b>4.01</b>		147	<b>2.82</b>
令和元年度調査値			令和元年度調査値		
4.21(0.20↓)			2.83(0.01↓)		

全体ポイント	<b>3.90</b>	4.01(0.11↓)	全体ポイント	<b>3.25</b>	2.95(0.30↑)
--------	-------------	-------------	--------	-------------	-------------



## IV CSポートフォリオ分析

### 1 令和3年度調査結果

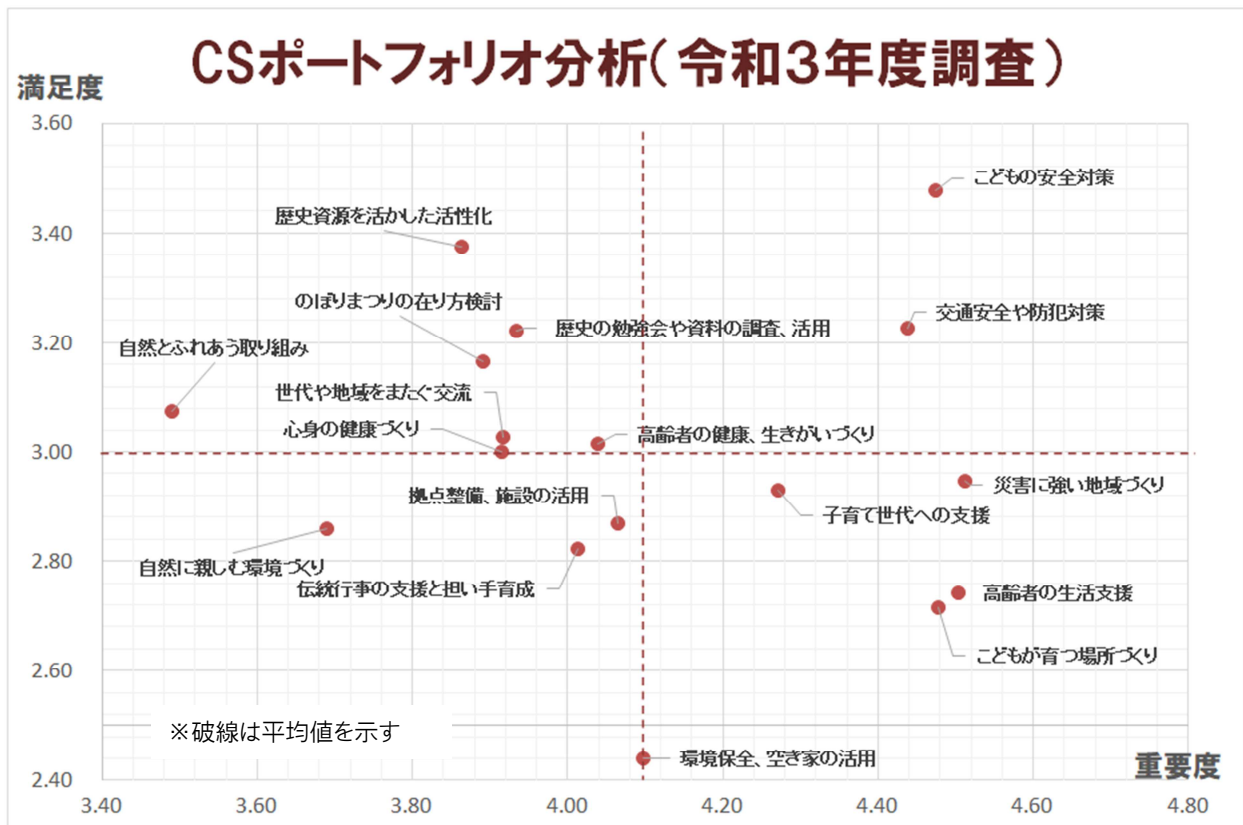
地域計画に掲げられる取り組み方針37項目を17項目に分類し、それぞれの項目について重要度と満足度をポイント化し、それぞれの順位を付けました。

項目	重要度		満足度	
	ポイント	ランク	ポイント	ランク
世代や地域をまたぐ交流	3.92	12	3.03	7
拠点整備、施設の活用	4.06	8	2.87	12
景観保全、空き家の活用	4.10	7	2.44	17
災害に強い地域作り	4.51	1	2.95	10
交通安全や防犯対策	4.44	5	3.23	3
こどもの安全対策	4.47	4	3.48	1
こどもが育つ場所づくり	4.48	3	2.71	16
子育て世代への支援	4.27	6	2.93	11
心身の健康づくり	3.92	13	3.00	9
高齢者の健康、生きがいづくり	4.04	9	3.01	8
高齢者の生活支援	4.50	2	2.74	15
自然とふれあう取り組み	3.49	17	3.07	6
自然に親しむ環境づくり	3.69	16	2.86	13
歴史の勉強会や資料の調査、活用	3.93	11	3.22	4
歴史資源を活かした活性化	3.86	15	3.37	2
のぼりまつりの在り方検討	3.89	14	3.17	5
伝統行事の支援と担い手育成	4.01	10	2.82	14
平均	4.09		2.99	

重要度については1位が「災害に強い地域づくり（4.51ポイント）」で、2位が「高齢者の生活支援（4.50ポイント）」、3位「こどもが育つ場所づくり（4.48ポイント）」、4位「こどもの安全対策（4.47ポイント）」5位「交通安全や防犯対策（4.44ポイント）」となっており、安心安全の分野、子育てや高齢者などの福祉的分野の重要度が高くなっています。一方で、「自然と触れ合うための取り組み」、「自然に親しむ環境づくり」、「歴史資源を活かした活性化」、「のぼりまつりの在り方検討」など、自然の分野、歴史伝統の分野については重要度が低い結果となりました。

満足度については1位が「こどもの安全対策（3.48ポイント）」で、2位「歴史資源を活かした活性化（3.37ポイント）」、3位「交通安全や防犯対策（3.23ポイント）」、4位「歴史の勉強会や資料の調査、活用（3.22ポイント）」、5位「のぼりまつりの在り方検討（3.17ポイント）」となっており、歴史伝統分野と安心安全に関する分野の満足度が高くなっています。一方で、「景観保全、空き家の活用」、「こどもが育つ場所づくり」、「高齢者の生活支援」、「伝統行事の支援と担い手の育成」、「自然に親しむ環境づくり」などの項目が分野に関係なく低い結果となりました。

各項目、重要度と満足度をグラフ化した結果は次のとおりです。



重要度、満足度共に高い評価となったのが「子どもの安全対策」、「交通安全や防犯対策」の2項目で、この2項目については、鳳来中部地域自治区の強みとして、取り組みを継続していくことが必要となります。

次に、重要度が高く、満足度が低い評価となったのが「災害に強い地域づくり」、「高齢者の生活支援」、「子どもが育つ場所づくり」、「子育て世代への支援」、「景観保全、空き家の活用」の5項目です。この5項目については、重要度が高く、満足度が低いため早急に取り組むことが必要であり、満足度を向上させることで、鳳来中部地域自治区の強みとして活かすことが求められます。

逆に、重要度が高く、満足度が高い評価となったのが「高齢者の健康、生きがいづくり」、「歴史の勉強会や資料の調査、活用」、「世代や地域をまたぐ交流」、「心身の健康づくり」、「のほりまつりの在り方検討」、「歴史資源を活かした活性化」、「自然とふれあう取り組み」の7項目です。この7項目については、満足度は高いものの、重要度については低いため、満足度の低下とにならないよう取り組みを維持していくことが求められます。

最後に、重要度、満足度ともに低い評価となったのが、「拠点整備、施設の活用」、「伝統行事の支援と担い手育成」、「自然に親しむ環境づくり」の3項目です。この3項目については、重要度、満足度ともに低いため要検討項目と位置づけられます。今後の取り組み方針などについて再度検討し、場合によっては見直しも考える必要があります。

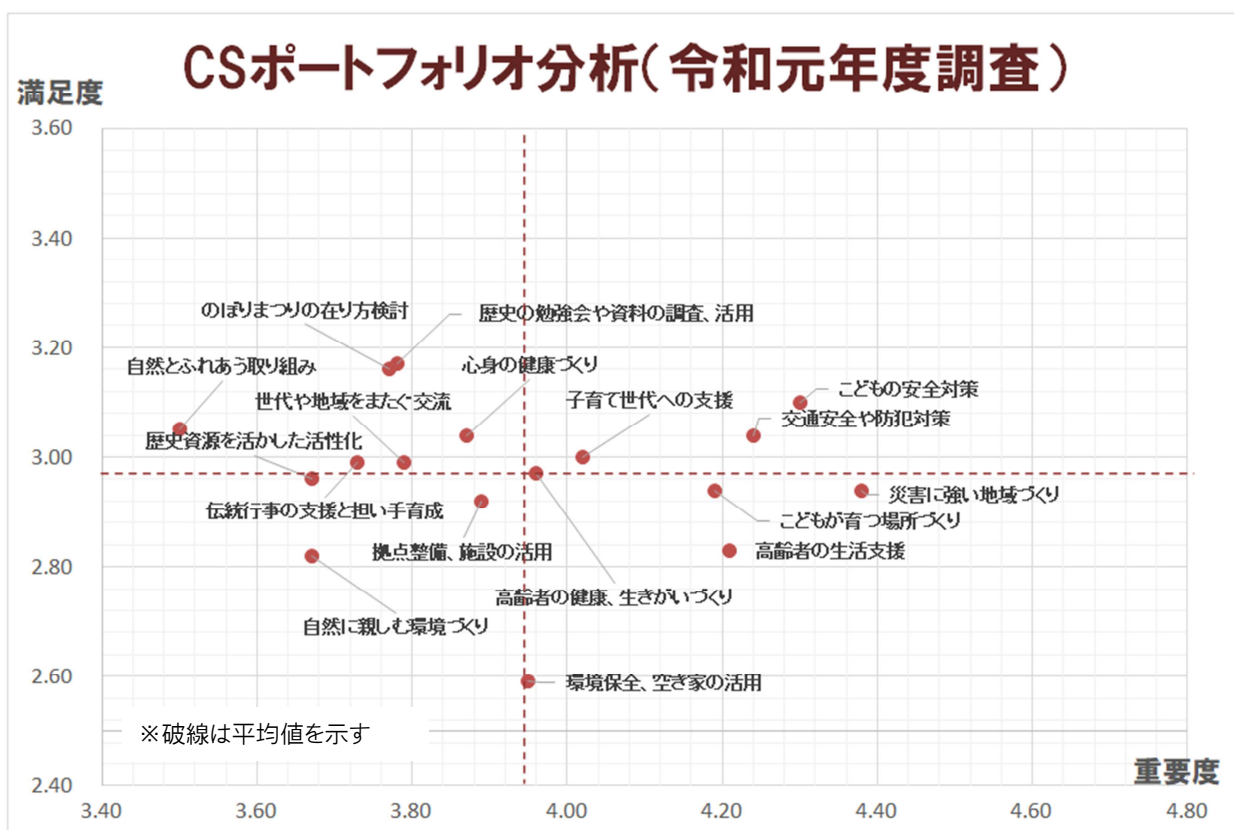
## 2 前回調査との比較

今回調査を行った全17項目の重要度、満足度の平均値は、重要度が4.09ポイントで前回調査の

3.94ポイントを0.15ポイント上回り、満足度については2.99ポイントで前回調査の2.97ポイントを0.02ポイント上回る結果となりました。

【重要度・満足度の令和元年度調査との比較】

項目	R3年度重要度		R1年度重要度		R3年度満足度		R1年度満足度	
	ポイント	ランク	ポイント	ランク	ポイント	ランク	ポイント	ランク
世代や地域をまたぐ交流	3.92	12	3.79	11	3.03	7	2.99	8
拠点整備、施設の活用	4.06	8	3.89	9	2.87	12	2.92	14
景観保全、空き家の活用	4.10	7	3.95	8	2.44	17	2.59	17
災害に強い地域作り	4.51	1	4.38	1	2.95	10	2.94	12
交通安全や防犯対策	4.44	5	4.24	3	3.23	3	3.04	5
こどもの安全対策	4.47	4	4.30	2	3.48	1	3.10	3
こどもが育つ場所づくり	4.48	3	4.19	5	2.71	16	2.94	12
子育て世代への支援	4.27	6	4.02	6	2.93	11	3.00	7
心身の健康づくり	3.92	13	3.87	10	3.00	9	3.04	5
高齢者の健康、生きがいづくり	4.04	9	3.96	7	3.01	8	2.97	10
高齢者の生活支援	4.50	2	4.21	4	2.74	15	2.83	15
自然とふれあう取り組み	3.49	17	3.50	17	3.07	6	3.05	4
自然に親しむ環境づくり	3.69	16	3.67	15	2.86	13	2.82	16
歴史の勉強会や資料の調査、活用	3.93	11	3.78	12	3.22	4	3.17	1
歴史資源を活かした活性化	3.86	15	3.67	15	3.37	2	2.96	11
のぼりまつりの在り方検討	3.89	14	3.77	13	3.17	5	3.16	2
伝統行事の支援と担い手育成	4.01	10	3.73	14	2.82	14	2.99	8
平均	4.09		3.94		2.99		2.97	



全項目の重要度については、前回調査でポイントが高かった「災害に強い地域づくり」、「こどもの安全対策」、「交通安全や防犯対策」、「高齢者の生活支援」、「こどもが育つ場所づくり」などが、今回の調査でも上位となっており、重要度のポイントも更に高くなっています。また、前回調査で重要度のポイ

ントが低かった「自然とふれあう取り組み」、「自然に親しむ環境づくり」の自然の分野については、今回調査でも低い数値となっており、獲得ポイントも前回調査からの変化が少なくなっています。

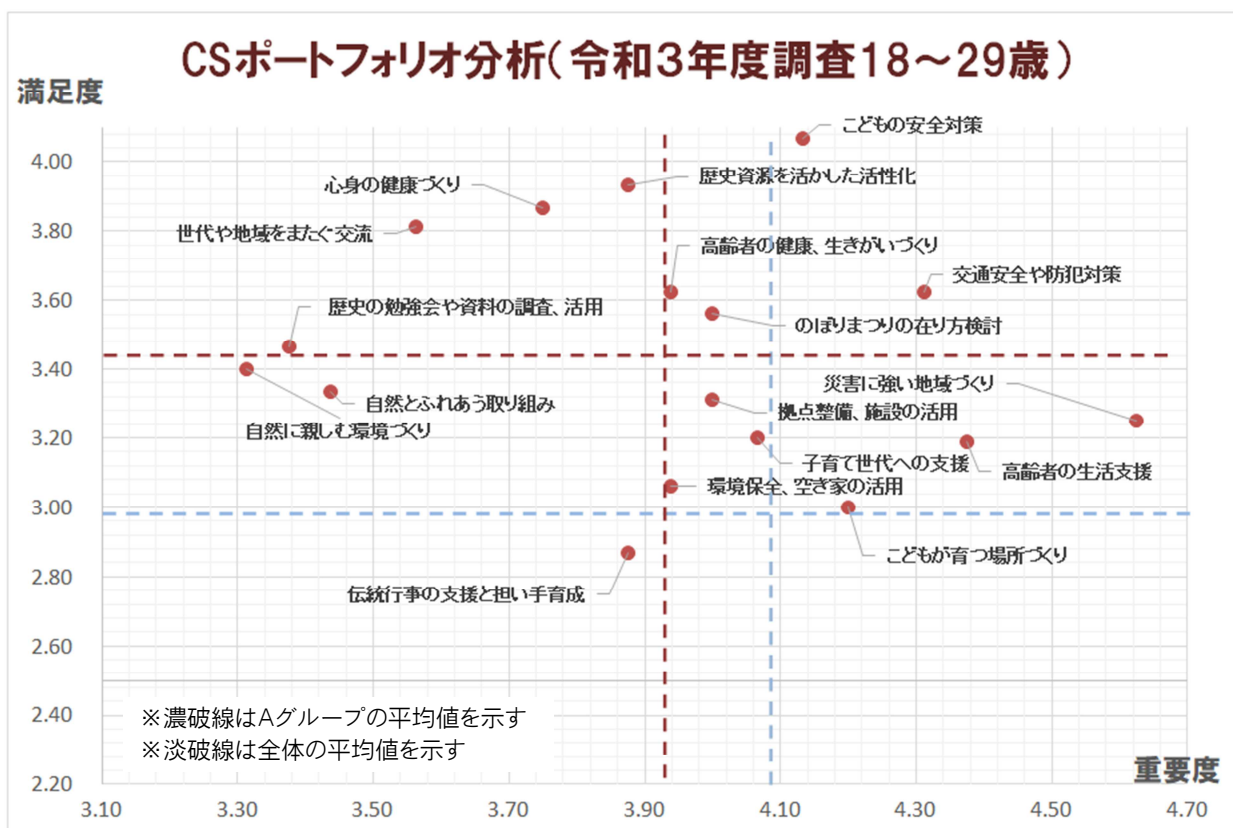
続いて、満足度については、前回調査でポイントが高かった「歴史の勉強会や資料の調査、活用」、「のぼりまつりの在り方検討」、「こどもの安全対策」、「交通安全や防犯対策」は、今回調査でも上位となっており、満足度が高い項目となります。また、前回調査で満足度が11位の「歴史資源を活かした活性化」については、今回調査で2位となっており満足度が大幅に向上しました。前回調査、今回調査共に満足度が低かった「景観保全、空き家の活用」、「高齢者の生活支援」については、獲得ポイントが更に低下しており、特に「景観保全、空き家の活用」の満足度については、他の項目よりも大幅に低い数値となりました。また、「こどもが育つ場所づくり」については、前回調査で11位から、今回調査で16位と大幅に順位を落としています。

満足度が低い、「環境保全、空き家の活用」、「こどもが育つ場所づくり」、「高齢者の生活支援」については、重要度が高い項目となっているため、早急に積極的な取り組みが求められます。

### 3 世代間での比較

ポートフォリオ分析について、Aグループ（18歳から29歳）、Bグループ（30歳から59歳）、Cグループ（60歳から89歳）に分類して比較しました。

#### (1)Aグループ(18歳から29歳)



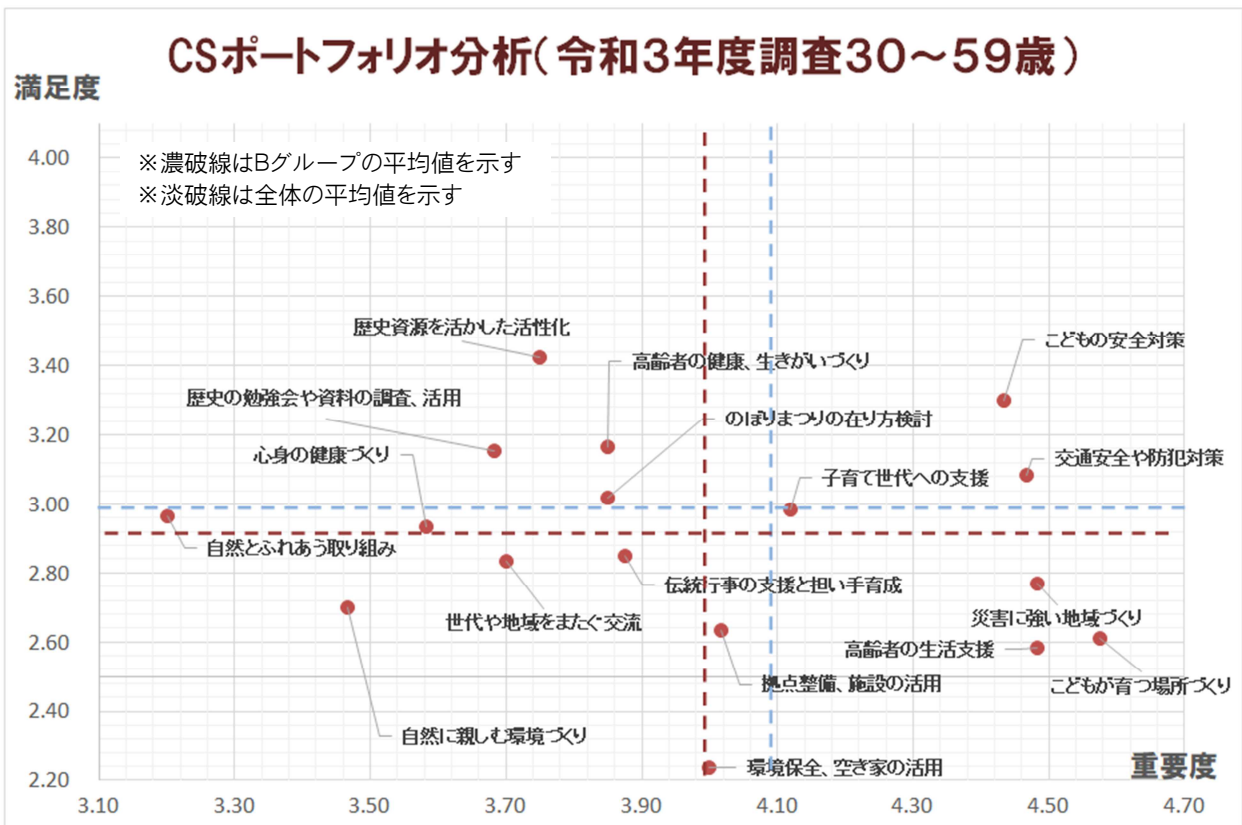
Aグループの重要度、満足度の平均値は、重要度が3.93ポイントで全世代の平均値4.09ポイントを0.16ポイント下回っており、満足度については3.45ポイントで全世代の平均値2.99

ポイントを0.46ポイント上回る結果となりました。

重要度については、Aグループと全世代では、「災害に強い地域づくり」、「高齢者の生活支援」、「交通安全や防犯対策」、「こどもが育つ場所づくり」などが上位にランクインしており、全体的にも順位に大きな差はありませんが、「のぼりまつりの在り方検討」については、全世代の順位が14位に対してAグループでは7位と比較的上位にランクされています。

満足度については、Aグループ、全世代共に1位「こどもの安全対策」、2位「歴史を活かした活性化」となっていますが、3位に「心身の健康づくり」、4位に「世代や地域をまたぐ交流」、5位に「高齢者の健康、生きがいがづくり」がランクインしており、全世代のランキングとの違いがあります。また、満足度が低い得点となっているものは「伝統行事の支援と担い手育成」、「こどもが育つ場所づくり」、「景観保全、空き家の活用」などで、全世代でも得点が低い項目となっています。

## (2)Bグループ(30歳から59歳)

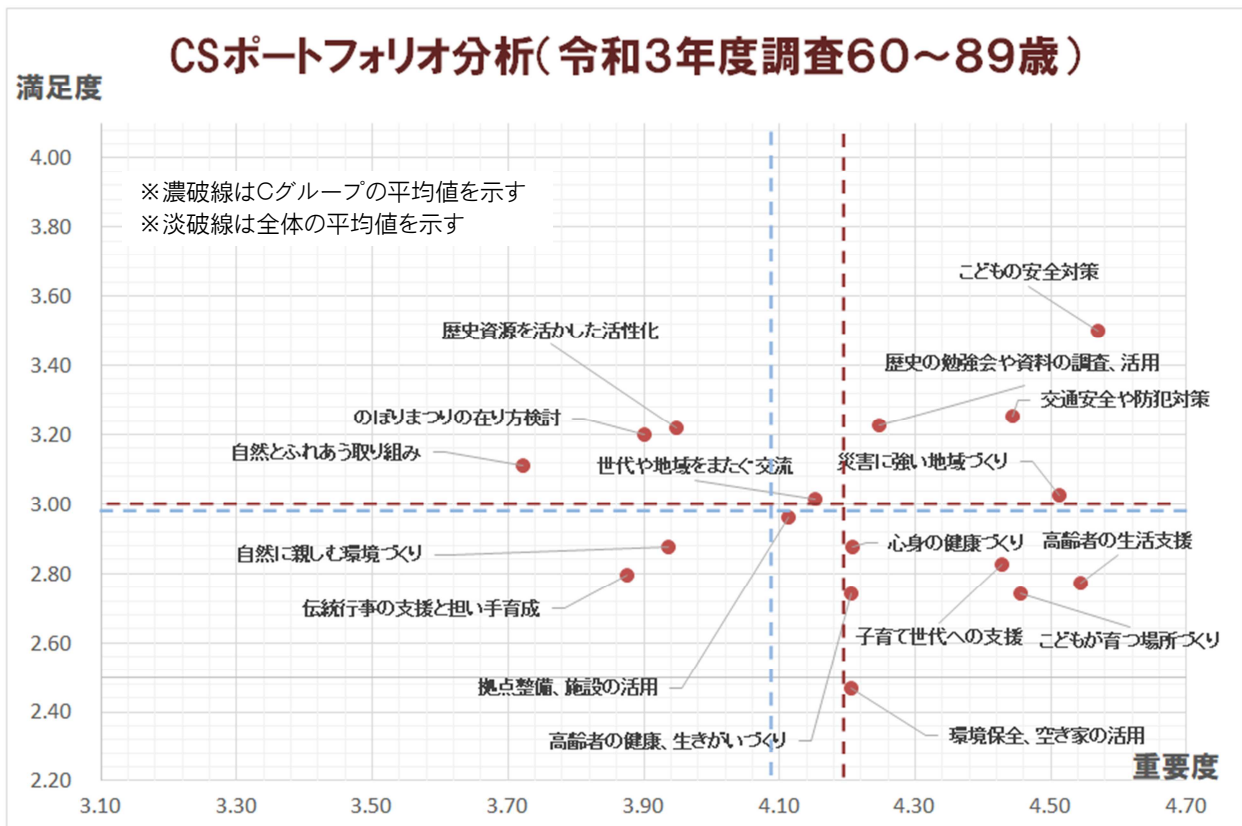


Bグループの重要度、満足度の平均値は、重要度が3.97ポイントで全世代の平均値4.09ポイントを0.12ポイント下回っており、満足度については2.90ポイントで全世代の平均値2.99ポイントを0.09ポイント下回っています。

重要度については、「こどもが育つ場所づくり」、「高齢者の生活支援」、「災害に強い地域づくり」、「交通安全や防犯対策」、「こどもの安全対策」が上位で、全世代の上位と同じ項目となっています。また、重要度の低い項目は「自然とふれあう取り組み」、「自然に親しむ環境づくり」、「心身の健康づくり」、「歴史の勉強会や資料の調査、活用」、「世代や地域をまたぐ交流」で、こちらも全世代の下位との違いはあまりありません。

満足度については、「歴史資源を活かした活性化」、「こどもの安全対策」、「歴史の勉強会や資料の調査、活用」、「交通安全や防犯対策」が全世代とともに上位にランキングされていますが、「高齢者の生きがいがづくり」については、全世代の順位が8位であるものの、Bグループでは3位となっています。満足度の低い項目は、「景観保全、空き家の活用」、「高齢者の生活支援」、「こどもが育つ場所づくり」、「拠点整備、施設の活用」、「自然に親しむ環境づくり」で、全世代の下位との違いはあまりありません。

### (3)Cグループ(60歳から89歳)



Cグループの重要度、満足度の平均値は、重要度が4.20ポイントで全世代の平均値4.09ポイントを0.11ポイント上回っており、満足度については2.98ポイントで全世代の平均値2.99ポイントを0.01ポイント下回りました。

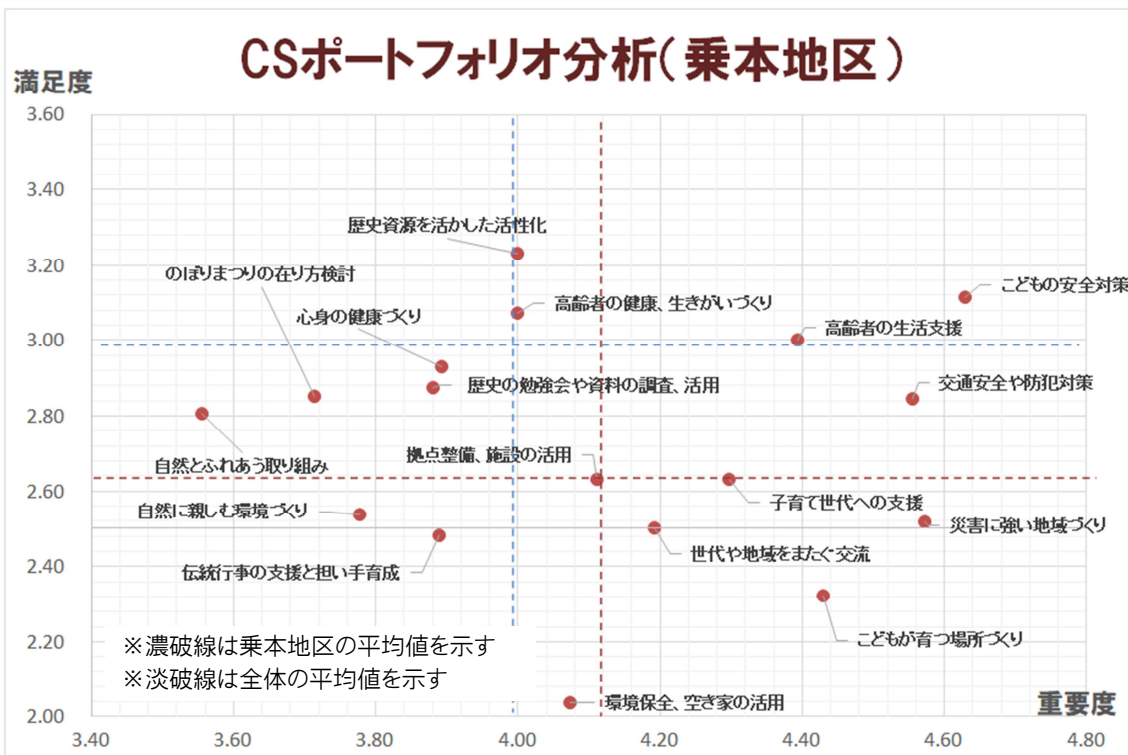
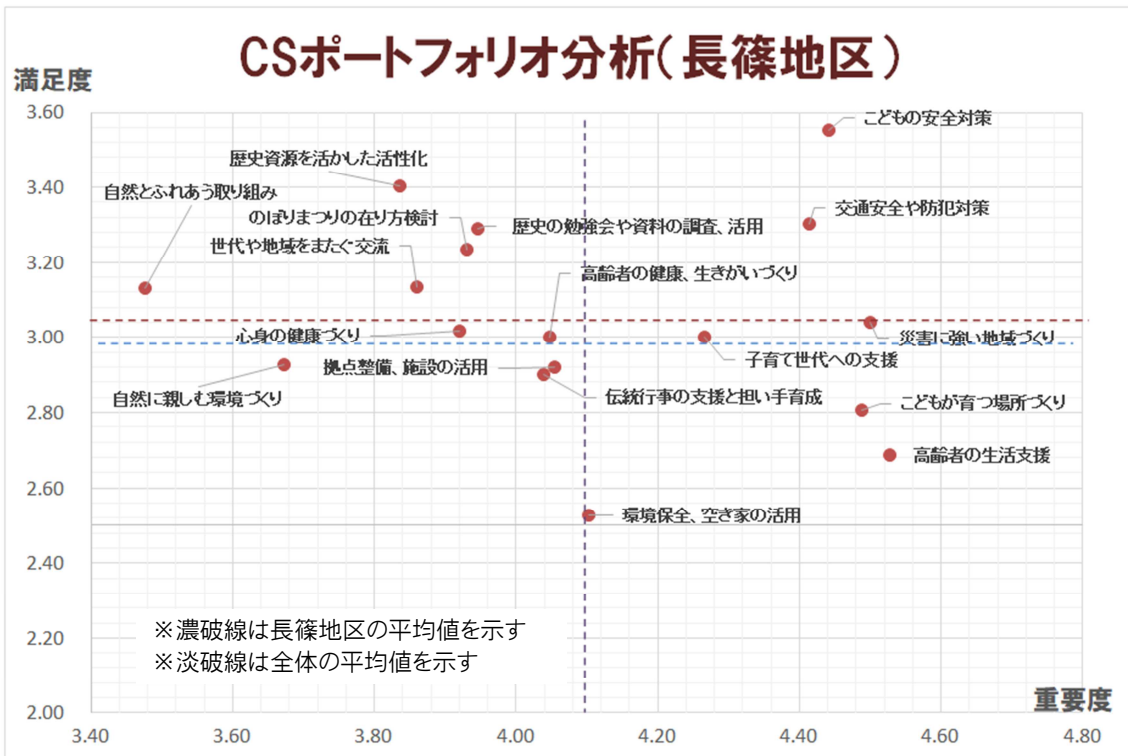
重要度については、「こどもの安全対策」、「高齢者の生活支援」、「災害に強い地域づくり」、「こどもが育つ場所づくり」、「交通安全や防犯対策」が上位にランクインしており、全世代の上位と同じ項目となっています。また、重要度の低い項目では「自然とふれあい取り組み」、「自然に親しむ環境づくり」、「のぼりまつりの在り方検討」、「歴史資源を活かした活性化」がCグループ、全世代共にランキングされていますが、「伝統行事の支援と担い手育成」については、全世代で10位に対し、Cグループで13位とさらに低いランキングとなっています。

満足度については、「こどもの安全対策」、「交通安全や防犯対策」、「歴史の勉強会や資料の調査、活用」、「歴史を活かした活性化」、「のぼりまつりの在り方検討」が上位にランクインしており、全世代の上位と同じ項目となっています。また、満足度が低い項目は、「景観保全、空き家の活用」、「こどもが育つ場所づくり」、「高齢者の生活支援」、「伝統行事の支援と担い手育成」が、Cグループ、全世代共に

ランクインしていますが、「高齢者の健康、生きがいづくり」については、全世代では8位となっていますが、Cグループでは15位と低い満足度となっています。

#### 4 地域間での比較

CSポートフォリオ分析について、長篠地区（長篠西区、本郷区、内金区、富保区）と、乗本地区（蔵平区、小川区、栗衣区、大平区、本久区）に分類して比較しました。



全体で比較すると、長篠地区の重要度の平均値は4.09ポイントで全地区の平均値4.09ポイントと同じですが、乗本地区では4.12ポイントで長篠地区、全地区の平均値よりも0.03ポイント上回っています。また、満足度については長篠地区の平均値が3.05ポイントで全地区平均値の2.99ポイントよりも0.06ポイント高くなっている一方、乗本地区では2.73ポイントで、平均値から0.26ポイント、長篠地区からは0.32ポイント下回る結果となりました。

項目別にみると、重要度は、「高齢者の生活支援」、「災害に強い地域づくり」、「こどもが育つ場所づくり」、「こどもの安全対策」、「交通安全や防犯対策」が長篠地区、乗本地区共に上位となっており、全地区でも同じ項目がランクインしています。満足度は、「こどもの安全対策」、「歴史資源を活かした活性化」が長篠地区、乗本地区共に1位、2位にランクインしています。しかし、3位以降については、長篠地区で「交通安全や防犯対策」、「歴史の勉強会や資料の調査、活用」、「のぼりまつりの在り方検討」がランクインしていますが、乗本地区では「高齢者の生きがづくり」、「高齢者の生活支援」、「心身の健康づくり」がランクインしています。全地区では「高齢者の生きがづくり」、「高齢者の生活支援」の満足度が低いものの、乗本地区では、この2項目の満足度が高くなっています。

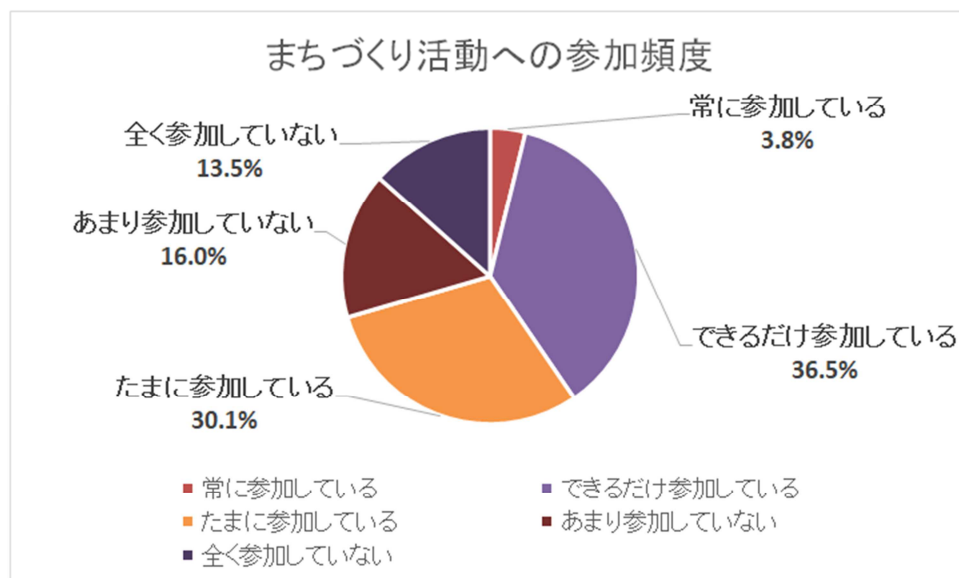
## V まちづくり活動について

まちづくり活動については、活動への参加頻度、参加意欲、参加してもいいと思う活動の3項目について調査しました。

### (1)まちづくり活動への参加頻度

まちづくり活動への参加頻度については、「できるだけ参加している（36.5%）」が最も多く、次いで「たまに参加している（30.1%）」、「あまり参加していない（16.0%）」、「全く参加していない（13.5%）」、「常に参加している（3.8%）」でした。

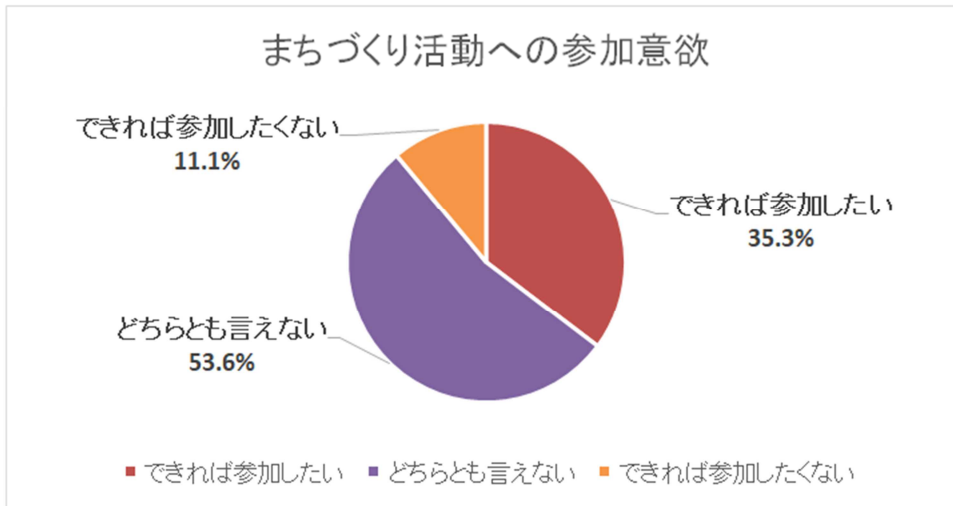
今回調査で「常に参加している」、または「できるだけ参加している」と回答した方の割合は40.3%で、前回調査の21.6%と比べて18.7ポイント増加しています。「たまに参加している」と答えた方が今回調査で30.1%、前回調査の47.2%よりも17.1ポイント減少、「余り参加していない」、又は「全く参加していない」と答えた方は今回調査で29.5%、前回調査の32.2%から2.7ポイント減少となっており、まちづくり活動への参加頻度は前回調査よりも向上しています。





## (2)まちづくり活動への参加意欲

まちづくり活動への参加意欲については、「どちらとも言えない（53.6%）」が一番多く、次いで「できれば参加したい（35.3%）」、「できれば参加したくない（11.1%）」となりました。前回調査では「どちらとも言えない（64.2%）」で10.6ポイント減少、「できれば参加したい（35.8%）」で、0.5ポイント減少、「できれば参加したくない（10.6%）」で0.5ポイントの増加となり、参加意欲についてはやや低下しています。

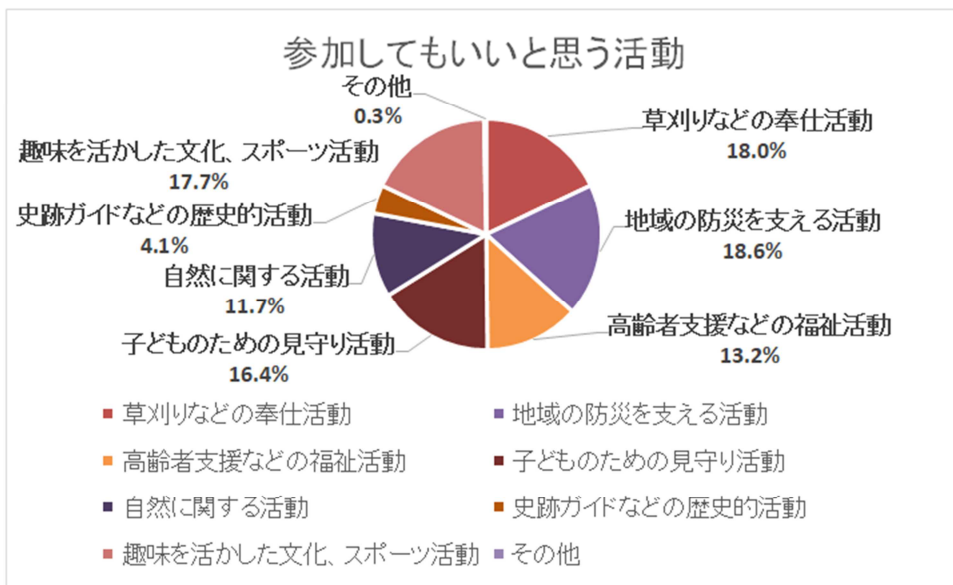


## (3)参加してもいいと思う活動

まちづくり活動について、参加してもいいと思う活動について調査しました。

参加してもいいと思う活動の上位は「地域の防災を支える活動（18.6%）」、「草刈りなどの奉仕活動（18.0%）」、「趣味を活かした文化・スポーツ活動（17.7%）」となりました。

前回調査との比較では、「高齢者支援などの福祉活動」が22.3%から13.2%へ、9.1ポイント、「自然に関する活動」が19.8%から11.7%へ8.1ポイントと大幅に下回りました。



## VI 自由記述

---

まちづくりアンケートに自由記述として多くのご意見が寄せられました。

なお、自由記述については原文のまま掲載させていただきますが、個人に関する記載については、一部修正又は削除しました。

### 1 暮らしの分野について

- ・人口が減って住み難くなるのは行政が生活し辛くなる方向に向かわせてるのを気づいていない為である。
- ・地域協議会や公民館所有品を保管する倉庫や場所を公共施設に確保できないか。
- ・スーパーが必要。
- ・休耕田の大きな草が、景観を損なっている。
- ・高齢の方が多いので、食料品を中心に生活に困らないような策を考えるべきだと思います。自動車に乗れない人が増え続けるのが当地域です。
- ・人が集まる拠点作りは非常に重要だと思います。
- ・少子高齢化が進む中、旧態以前の制度のまま行われている。人口減少で成長した国はない。生産性を上げない限り先はない。我々は、良き先祖にならなくてはいけないと考えます。
- ・コミュニケーションが取れる時節の催し物が減って、何かしらことができたらと思っています
- ・鳳来支所跡地を有効活用して欲しい。
- ・本来からあまり変えない方が良い。
- ・空き家の活用をもっと考えるべき。
- ・空き家を市で活用して売ったり買ったりして欲しい、新城市空き家バンクを立ち上げて欲しい
- ・新規の方への対応を、地元とか言っていばっている人が排除している。
- ・空き家、荒れ地の放置による環境悪化が進んでいるので。
- ・休耕地に杉、桧を植林している場所は木が成長すると日当たりは悪くなり、自分たちで自分たちの首を絞めている有様です。せめて道路沿いの木は何とか伐採できないかと思います。
- ・空き家は結局古くなって仕えなくなり、解体となる。解体費用も高価格となる。
- ・地域の行事が多すぎる、若い人がついて行けない、リモートが？
- ・空き家対策を最重要課題として対策して欲しい。(移住、リフォーム、解体等)
- ・現状では定着するには長期間を要する。
- ・働く場所が遠くなる人が多いので、ただ来てくださいでは難しいのでは。自治体として補助等が必要では。

### 2 安心安全の分野について

- ・防犯灯がまだまだ少ないと思います。防犯カメラは設置出来れば良いけれどそれは色々な面から無理があるので出来る事からやっていただきたい 皆んなが監視してる等と記載されたステッカーを地区の皆んなに貼って貰うのも良いかも知れないね。
- ・区ごとの最終的な防犯灯や消火栓配置計画の作成。
- ・交通立番の取り組みが良かった。田舎道は、スピードを落として走る看板が欲しいです。

- ・安全運転技能講習会は良い。幅広い年齢層や女性の参加など更なる充実を図りたい。
- ・住民に災害や安全に対する危機感が希薄に感じる。危機感をあおれとは言わないがなんとかしないと！人頼みではだめ！
- ・自転車に乗る人が増えています。車道などの整備が必要だと思います。
- ・全般的に言える事であるが、ないものねだりではダメ。
- ・街灯など老朽化しているところが多々有。
- ・街灯などを増やして欲しい。
- ・鳳来中学校東側県道32号の交通量が多く、通行車両のスピードが速いため、鳳来中学校東側に横断歩道を設置して欲しい。
- ・道のすぐそばに木が植えてあったりすると見にくいので何とかして欲しい。
- ・災害時要援護者への支援についてあまり情報がない、どこで知れば良いですか。
- ・考えが古い。
- ・カーブミラーの整備、防犯カメラの設置。
- ・防犯カメラの設置希望（鳳来東栄線の道路）大草地区。
- ・昼間年寄りが多いので防犯カメラを設置していただくと安心です。
- ・高齢者（独り暮らし）になるほど、まわりと関わる機会が減る。
- ・防犯カメラの設置、地区に2台。
- ・行政の配布物の在り方、ティーズを使えないか。
- ・総合病院が無いのは防災として難しい。救急等で豊川、豊橋まで行かないといけないので限界がある。

### 3 子育ての分野について

- ・近くに公園や広場を子供の為に開放していただきたい。
- ・全市で取り組む課題だと思います。
- ・子育て世代が満足、優遇される仕組みが良いです。
- ・広場、または公園があったらいいと思う。
- ・子育て世代とシニア世代が集える居場所作り。
- ・特定の方々が当地だけでなく市内全域を掻き回している現状を改善することが先決です。
- ・子供は、国が育てるといふ仕組み作りが必要。新城市が一早く取り組んでは？新城市として特化。
- ・育児関連の手当てや、祝い金などを充実すれば転入者が増えるかも。
- ・もうし分ない。
- ・東三河1番の産婦人科の誘致、子どもの学費、医療費無償化、空き家バンクに登録してもらい若い世代に充てる。
- ・子どもが遊ぶ場所が不足していると思う。もっと空き地等の有効活用を考えるべき。他の保護者からも、小さい子どもが遊ぶ場所がないと聞く。小さい子どもが増えているので考えて欲しい。
- ・子どもが安心してのびのびと暮らせるまちになって欲しい。
- ・未就学児が遊べる遊具及び公園の整備。
- ・市民病院で子どもを産めるようにして欲しい、雇用の場を作って欲しい、保母さんの手当を上げて欲しい。

- ・地域で子育て教室などあるとは聞いていない。
- ・特定のグループが自身の考えを押しつけているように見受けられる。
- ・子どもが少ない。
- ・しんしろ助産所と児童館たんぼぼは娘が出産した際にお世話になりました。大変助かりました。授乳の方法、また第2子が生まれたとき、よその子を冬空へ出すのは迷っていたところ、たんぼぼで遊ばせてもらいました。同年齢の子もいて楽しかったようです。
- ・学校から帰ってからの子どもの交流が少ない。

#### 4 健康づくりの分野について

- ・団塊世代は我儘に育った方達 余り情けをかけると我儘が増すから程々にした方が良い。
- ・全市で取り組む内容。
- ・高齢者ドライバーが免許証返納しやすい仕組み、支援が必要と思います。
- ・高齢者の交流する機会が全くない。
- ・市がする事と、各自がすることと分けて考える。
- ・市役所福祉課の福祉書類等に対する説明がマニュアル棒読み、詳細な説明がかなり不十分、対応が不愛想、無知識丸見え、プロを置け！！
- ・高齢者の大変さは分かる/意識するのは悪い。
- ・ひとりでゴミ出しにいけない高齢者の対応を考えるべき。
- ・高齢者がゴミ出しできないとゴミ屋敷になるので、地域で助け合う制度を作って欲しい。
- ・生活、介護支援を受けていないので分かりません。
- ・介護認定が受けられない人が利用できる有料ボランティアの会を作って、一人暮らしの支援ができると良いと思います。
- ・個人でやっている。
- ・ウォーキングコースなどの情報を公開して欲しい。
- ・現在は自動車の運転ができますので不自由は感じていませんが、10年後を考えると生活全般が不安です。
- ・現在は自分で行動できているが、この先年齢を考えると不安がある。
- ・余談ですが、オープン以来ジムへ。私の地区では一人しか通所していません。内金、本郷では数人います。佐久間町や、東栄町からの方もいます。火曜日から土曜日まで要のない日は午前中だけ遊んできます。親の介護など事情もあると思いますがこういう形で参加できるのは幸せだと思っています。効果はまだまだ未知数ですが。木曜日の午前中は市の行事で年寄りが参加しています。プールにも入っています。
- ・コロナで、今まで積み上げてきたことができなくなり、それが問題です。
- ・自分に合った健康法。
- ・体操、散歩、遊び場等の交流が少ない。先に立つ人がいない。個人では少しやっている。
- ・手作りの食品を近くで買いやすくして欲しい。

## 5 自然の分野について

- ・自然保護と開発は背中合わせ 遊歩道を作る事は自然を破壊する事です。それをわきまえて活動して下さい。
- ・休耕田など景観の悪い所は、地域で、綺麗にしてもらいたい。
- ・10年先の事を考えて進むべし。
- ・本来この地に有ったことで良いと思う。
- ・何をやっていますか。
- ・旧田口鉄道線路駅等の看板設置他。
- ・休耕地を維持している高齢者が、これから先何年管理できるかというところと5～8年以内の世帯が多いように思う。利活用の取り組みをお願いしたい。
- ・今のままでよしとする。

## 6 歴史伝統の分野について

- ・地域伝承は時代と共に変わってきた。昔からやっていると言う人がいるが、いつ頃の昔の事を指しているのか不明です。言っている本人もいつ頃からの伝承なのかかわかっていない 例えば念仏踊りにしても長野の諏訪市 東栄町の下田 田峰城主 これらを知らないで昔からやっていると言う ルーツから説明が欲しいですね。
- ・従来を無理に守る必要無し。
- ・地区のお祭りにも予算を認める。
- ・地区以外から参加希望者の検討。
- ・長篠合戦の地を活かしたまちづくり。日本中に知られている唯一無二のものである。
- ・何事も、費用対効果。
- ・優先順位を見直してください。
- ・これが一番とても良い。
- ・全国的な認知度は「新城」よりも「長篠」のほうが高い、もっと名を売ろう、のぼりまつりは市のまつりに、儲かるまつりに、損しています。
- ・せっかく全国的に有名な史跡があるので観光などに活用して欲しい。
- ・年寄りばかりで地域の伝統行事が継承できないので、インターネットなどで呼びかけて外から人を集めるようにして欲しい。
- ・行事について精査する時が来ていると思う。
- ・地域でいばっている人間が、新しい人を排除して住みづらい。
- ・のぼりまつりは小学生の参加が恒例となり、関心の無い父兄も少しは感じる場所があるのでは。児童には忘れられない思い出になると思います。開発センターで行っていた歴史講座は夫婦で参加していましたが、コロナ禍でなくなり残念です。他の市町の方も多く来ていました。
- ・少子化により担い手がなくなる。地域を越えて人を募集し指導する。
- ・祭りなどの継承、若い人が少ない。